

一般社団法人日本スクエアダンス協会中部統括支部
「平成28年度臨時幹事会」開催報告

6月12日(日)日本ガイシフォーラム(名古屋市南区)で、一般社団法人日本スクエアダンス協会中部統括支部「平成28年度臨時幹事会」が開催されました。

今回の臨時幹事会は、4月17日(日)に行われた「平成28年度中部統括支部幹事会」において実施された平成28・29年度統括支部役員選挙のうち、理事選挙についてはその仕組みや流れを正しく理解しないまま錯誤の投票をした幹事が少なからず居られ、本来の選挙とならなかった為、選挙のやり直しをするのが望ましいとの理由で、支部規約第11条1項2号に基づき、幹事総数の1/3以上の幹事から開催の請求があったため、招集されることとなったものです。

支部内から49名(他委任状による議決権行使者57名を含め合計106名)の出席のもと、富田支部長の開会の挨拶の後、議長団を選出して審議に入りました。

報告事項の冒頭で、臨時幹事会の招集に至った経緯について、富田支部長より説明があり、併せてS協の理事並びに会長・副会長が決定される仕組みについて詳しく説明された後、執行役員会報告と続きました。

審議事項に入って「理事選挙やり直し」の動議が提出され、臨時幹事会開催請求者を代表して、静岡地区委員長の伊熊敏彦氏より提案理由が詳しく説明されました。

賛成多数で理事選挙のやり直しが議決された後、即「やり直し選挙」の実施となり、投票の結果、勝亦隆夫氏、富田作夫氏(次点 林下正夫氏)が選出されました。

その後、財務委員長から提出された平成28年度予算案の支部内修正が審議・可決され、勝亦理事の閉会の言葉で臨時幹事会は無事終了しました。

中部統括支部にとって、おそらく初めての臨時幹事会でしたが、幹事・役職者それぞれに大切な教訓を残してくれたものと思います。

中部統括支部 総務委員長 後藤 新一

臨時幹事会の様子



議長・執行部 席



幹事 席